

# 特別活動における各活動の整理(素案)

平成28年1月20日  
 教育課程部会 特別活動  
 ワーキンググループ  
 資料6

	集団の規模 (年齢)	活動の性質	(参考)実社会・実生活に置き換えると (例)	特別活動において育成すべき資質・能力(たたき台)		
				人間関係を形成する力	社会に参画する力	自己を生かす力
				望ましい集団活動を通じて		
学級(ホームルーム)活動	学級(同年齢)	学級生活及び学校生活を送る上で、児童生徒が当面する諸課題への対応に資する活動	身近な生活集団(家庭、職場など)	集団の中で、よりよい人間関係を自主的・実践的に形成する力。 発達段階に応じて受け入れる価値観や個性が多様になり、コミュニケーションを図る場面も多岐にわたるようになる。	よりよい学級・学校生活づくりなど、自主的・実践的に集団や社会に参画する力。また、協力して諸問題を解決しようとする力。 発達段階に応じて集団や社会において解決すべき課題が複雑になり、自分の果たすべき役割が具体化する。役割を果たすべき集団も大きくなる。	集団の中で、自己の理解を深め、自己のよさや可能性を生かす力。また、自己の在り方生き方を考え、設計する力。 発達段階に応じて自己の能力や適性の理解が客観的にできるようになり、それを受け入れて主体的に自己を伸ばすことができるようになる。
児童会(生徒会)活動	全校(異年齢)	集団や社会の一員としてよりよい学校生活づくりに参画し、学校生活の充実と向上を図る活動	自治会、議会など			
クラブ活動	同好の集団(異年齢)	個性の伸長を図り、異年齢集団との交流を深め、共通の興味・関心を追求する活動	同好会、サークルなど			
学校行事	学年(同年齢) 全校(異年齢)	学校生活に秩序と変化を与え、学校生活の充実と発展に資する体験的な活動	地域の行事、旅行、ボランティア活動など			